

“次世代を創るチャレンジ”を支援 アルペンスキー日本代表 U16 チームの世界大会遠征を支援 ～ クラウドファンディング応援を通して ～



写真は2019年3月の前回大会遠征時の様子

株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井村 公彦)は、アルペンスキー日本代表U16チームの「ユース世界大会」遠征を支援するプロジェクトを12月2日より開始いたします。J:COMでは2016年度よりCSR活動の一環として“次世代を創るチャレンジ”支援を実施してきました。この取り組みは、次世代を担う若者世代のさまざまな挑戦を支援するというものです。

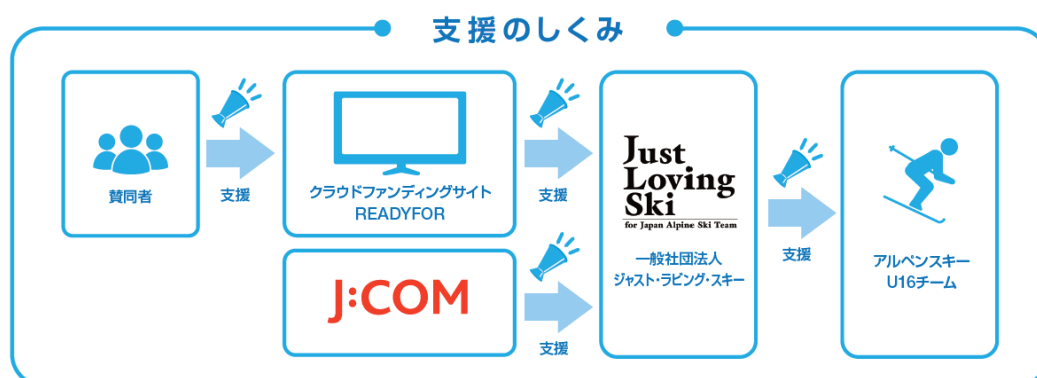
2018年度からは、「オリンピックの表彰台に日本人を」という想いの下、アルペンスキーU16チームを支援してきました。日本の雪質は海外からも評価されており、近年スキー場ではアジアのみならずヨーロッパからのスキーヤーも急増しています。一方、アルペンスキー競技はヨーロッパを主な舞台に開催されることもあり、日本人選手は世界で目立った活躍ができていません。世界レベルの大会で表彰台に立つためには、若い世代が早い段階から世界の水準や環境を体験する必要があります。J:COMは、若い世代への支援を通じ、将来のメダリスト誕生に向けて選手たちを応援します。

初めてアルペンスキーU16チームの支援を実施した昨年度、皆様からのご支援により、4名の選手が世界の舞台に挑戦し、男子選手が6位入賞するなど健闘しました。昨年の遠征の様子はYouTubeでも配信し、多数の方にご視聴いただいています(URL: <https://youtu.be/rm5XWqtIJFY>)。メダリストの誕生に向けては、継続的に選手を育成する必要があります。J:COMでは、昨年に引き続き2019年度も全日本スキー連盟・アルペンスキーU16 チームが挑むイタリア・アルプテンブラでの「ユース世界大会」遠征費用を、一般社団法人ジャスト・ラビング・スキーを通じて支援します。

さらに、一般社団法人ジャスト・ラビング・スキーが実施するクラウドファンディングの告知用動画やポスターをJ:COMが制作するほか、アルペンスキーの世界大会を毎年放送しているJ:COMグループ・スポーツ専門チャンネルJ SPORTSで支援のお願いを告知します。さらに、5,000円を支援された方には、J SPORTSのオンデマンド視聴権を返礼品として提供するなど、J:COMグループ一丸となり資金調達を応援します。
(プロジェクト URL: <https://readyfor.jp/projects/2020U16AlpineSupport>)

2019年度も昨年度に引き続き、選手たちがユース世界大会のメンバー入りにチャレンジする様子をJ:COMで取材し、制作した番組はJ SPORTSおよびJ:COMのコミュニティチャンネルで放送する予定です。

J:COMは今後も、企業理念に沿った「チャレンジ」する若者の支援を通じ、新たに多くのチャレンジが生まれるキッカケづくりを推進していきます。



<参考情報>

◆JLSIについて <https://jls.or.jp/>

一般社団法人ジャスト・ラビング・スキー(通称:JLS、事務所:長野県下高井郡野沢温泉村)は、

- ・世界で戦う日本人アルペンスキー選手を継続的に輩出するプロセスを確立する。
- ・日本人アルペンスキー選手の活動をさまざまな面から支援し、応援する。
- ・選手の活動の様子や試合の結果などをより多くの方々に知っていただき、感動を共有する。

以上を目標として掲げ、2012年10月に設立。全日本アルペンスキーチームのサポーター会員を継続的に募集している。2019年7月末日までに集まった支援金は1,300万円を超え、全日本スキー連盟のアルペン部に強化費として寄付し、強化に活用されている。

◆ユース世界大会について

イタリア・アルプテンブラにおいて毎年3月に行われる、およそ半世紀の歴史を持つ16歳以下の世界大会。国際スキー連盟(FIS)公認のユース大会は世界でも年間約10大会ほどで、この大会はその中でも伝統があり格式が高く、世界を舞台に活躍する選手の登竜門と位置付けられている。世界各国の16歳以下の代表が集い、今年度は2020年1月29日～2月1日に行われる。全日本スキー連盟では、ヨーロッパの舞台で戦える選手の育成を目的に、毎年選抜された6名程度の16歳以下の選手を派遣しており、2018年には大会史上初めて日本人選手が表彰台に立った。

ジュピターテレコムについて <www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社70局を通じて約552万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,164万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。 ※世帯数は2019年9月末現在の数字です。

J:COMがこれまでに協力したクラウドファンディング

2016年「高校生から始まる地域イノベーションプロジェクト」、2017年「鎌倉こどもハチミツプロジェクト」、2019年1月アルペンスキー日本代表U16チームの「ユース世界大会」の遠征。